

GREEN RADER



©松本山雅FC

令和6年度スタートにあたって

A-Policy【重点事業方針】

令和5年度 生産購買部 施設住宅課の取組み

A-Reports

- ・花きの商談会「信州フラワートレードフェア」を東京・大阪で開催 … 02
- ・JA長野県営農指導者会議 花き専門部会 全体研修会 …… 05
- ・厚生連にマスクや医療用手袋など寄贈 …… 05
- ・JAタウン「全農長野 僕らはおいしい応援団」出店者会議を開催 …… 06
- ・松本山雅FCにミニゴールを贈呈 …… 06
- ・JAビル食堂で地産地消ランチ …… 07
- ・「新生活応援 長野米を全国に贈ろうキャンペーン」開催中 …… 07
- ・令和6年度 機構・分掌・要員について …… 08
- ・令和6年度 全農長野県本部機構図 …… 09
- ・JA全農長野の事業現況 …… 10
- ・今月のおすすめレシピ …… 10
- ・4月のラジオ番組表 …… 10
- ・編集後記 …… 10



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

令和6年度スタートにあたって

全農長野県本部 県本部長 長谷川 孝治

花々の便りが届く季節となり、春の訪れとともに農作業が本格化するなか、長野県本部の令和6年度事業がスタートしました。

私たち職員一同、新たな気持ちで総合経済事業を通じ、組合員・JAの負託に応え、営農と生活向上への貢献と、JA営農経済事業の発展に取り組んで参ります。

さて、長野県本部の令和5年度決算は、供給販売高で計画比99%となる2,671億円を見込んでおります。

昨年は春先の度重なる低温により県内各地で凍霜害が発生し果樹を中心に生産量・品質に影響を与え、全県被害額は23億3,200万円に上る大きな被害となりました。また7月～9月の月平均気温は3カ月連続して統計史上最高値を記録し「最も暑い夏」となりました。その影響は、米の等級比率、生乳

生産量、果物の変色・落下など様々な品目で発生しました。

5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」になり「ウイズコロナ」から「アフターコロナ」への転換が図られ人流や経済活動に変化が見られました。しかしながらロシアによるウクライナに対する軍事

侵攻の長期化やイスラエル・パレスチナ情勢など地政学的リスク等により、大幅な円安、原油価格の高騰が続く、国内消費者物価指数が41年ぶりの高水準となるなどインフレの影響により農畜産物の営農継続に大きな影響を与えました。

このような大変厳しい事業環境の中、会員JAの皆様のご協力により事業結集ができましたことをあらためて感謝申し上げます。

さて、JAグループは、我が国の食料自給率が先進国の中でも最

低水準にあることから「食料安全保障の確立」「自己改革実践サイクルの構築」「人材の確保・育成」の取り組みを推し進める必要があります。

さらに食料・農業・農村基本法の見直しにおいては、「再生産に配慮した適正な価格形成の仕組みの具体化」「農業の持続的な発展」を掲げ、農業者が将来に希望を持てる政策・対策を強く訴えて参ります。

このような環境の中、長野県本部の令和6年度事業計画供給販売高は、2,706億円といたしました。本年度は「長野県本部中期事業計画（令和4～6年度）」の最終年度となります。JAおよび関係機関との連携を一層強化し、農業所得向上に向けた機能発揮に努めるとともに、本計画の確実な実践により会員JAの負託に応えて参ります。

特に持続的な農業生産基盤づくりによる農業生産量の維持拡大やAI・IoTを活用したスマート農業の普及、販売力強化とコスト低減による農家組合員の手取り最大化を目指すとともに、事業におけるDX化も進めて参ります。

また、担い手対策やJA経済事業の活性化など、活気ある地域社会づくりにつながる事業を展開し、令和6年度事業計画達成に向けて職員一同粘り強く努力していく所存ですので、会員JAの皆様のますますのご支援ご協力をお願い申し上げます。

令和6年4月1日

長野県本部長 長谷川 孝治



花きの商談会「信州フラワートレードフェア」を 東京・大阪で開催

JA全農長野果実花き課は、2月14日(水)に東京都中央卸売市場大田市場で、16日(金)に大阪市の(株)なにわ花まつりで、花きの商談会「信州フラワートレードフェア」を開催しました。毎年春先に、県内JAと卸売会社・実需者が今年の出荷シーズンに向けた取引について打ち合わせを行っており、コロナ禍のWEB開催を挟み今年は4年ぶり、通算18回目の実開催となりました。

商談会では、定期的な予約取引やフェアなどの取り組みのほか、コロナ禍で変化した需要や売り場の様子、県内産地での生産について情報交換を行いました。また、大阪会場では(株)なにわ花いちば主催の「なにわ花まつり」と同時開催し、JA長野県としてこの時期の出荷物を並べた展示ブースも設置しました。ブースでは出荷物の説明などをして買参人をはじめとする関係者とコミュニケーションを取りながらPRしました。

国内の花き生産は、高齢化などの影響を受けて年2〜3%ずつ減少傾向に

あり、長野県内も全体的には同様の傾向となっています。そのため、円安ながらも一定量の花きが輸入されています。今回の商談会をとおして、全農長野は生産(JA)と消費(卸売会社・実需者)の懸け橋となる調整役として、再生産価格で安定的な花き販売をめざす取り組みを継続する重要性を感じました。また今後は、コロナをきっかけ

としています。

とした個人消費などの需要

の広がりをチャンスとして維持し、長野県産の生産量減少に少しでも歯止めをかけることができるよう、未来の担い手を育成する花育などの活動も企画していきたいと考え



商談会をするJA担当者と市場関係者



なにわ花まつりの展示ブース



施設住宅課

令和5年度 生産購買部 施設住宅課の取組み

JA全農長野施設住宅課は、施主代行業を基本として一級建築士事務所による専門性を発揮し、事務所などの一般建築から農業施設まで幅広い施設の設計・監理を行っています。また、コンサルタントとして農業施設の高度化・再編への対応並びに組合員ニーズに応える住環境改善事業に取り組んでいます。

■建築

農機整備センターや長野県JAで初となるコインランドリーの建設、ガソリンスタンド内の駐車場等の付帯施設の整備等、多岐にわたるJAの施設建設・改修・整備について、相談から設計・業者選定・発注事務・工事監理を一貫して取り組みました。

また、JAグループである(株)長野県協同電算の新社屋についても設計・監理を行いました。

今後も新規物件は勿論、既存施設の改修等有効活用につながる提案についても積極的に取り組んで参ります。



(株)長野県協同電算（仮称）新社屋建設工事



JA信州うさだ コインランドリー建設工事



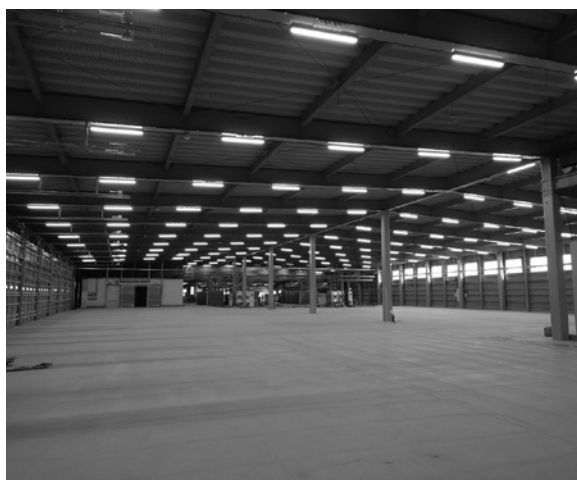
JA長野ハケ岳 農機センター建設工事



JA信州諏訪 玉川給油所駐車場土間工事



JA上伊那 南部カントリーエレベーター建設工事



■農業施設
系統組織として長年培ってきた農業



施設のノウハウを活かし、施設の高度化・効率化、環境に配慮した提案を行う

JA長野ハケ岳 御所平集出荷場建設工事

施設住宅課では「2050年カーボンニュートラル」に向けたエネルギー消費量削減への取り組みを進め、JA・地域組合員の皆様のご要望に沿った施設づくりを続けて参ります。

■まとめ

の住宅事業にも取り組んでいます。

■住宅事業
JAとの一体事業として、組合員の土地活用を支援しています。また、高齢化に配慮したり、フォームや、建物保全に係る白蟻防除等の住宅事業にも取り組んでいます。



JA佐久浅間株式会社アメック 長土呂（十二）分譲宅地造成工事

J A長野県営農指導者会議 花き専門部会 全体研修会

J A長野県営農指導者会議花き専門部会は、2月1日(木)と2日(金)の両日、県民文化会館とJ Aながの管内で全体研修会を開催しました。コロナ禍ではWEB開催をしていたため、今回は久々に顔を合わせての研修会となりました。

初日は、県内4地区より1名ずつ、今年度の事例・研究発表からスタート。地区における生産振興策や技術指導と販売との連携策、近年の猛暑に対する細霧冷房による暑さ対策、新たに取組んでいる栽培品目・方法などについて、4名の営農技術員が発表しました。その後、J A全農長野果実花き課の平谷敏彦技術審議役が講師として登壇し、暑さ対策の技術的な理論と事例を紹介しました。また、同課の吉澤栄二専門役を講師に、長野県花き事業における取扱高の推移や課題を確認し、営農技術員に求められることや役割についての説明があり、参加者の意識統一を促しました。まとめとして、参加者全員が今年の取り組み目標を発表し、花きの系統共販事業においては、営農技術員の果たす役目は大きく、要となっていることを確認しました。

2日目のJ Aながの みゆきブロック管内の圃場視察では、スズランやムスカリなどの球根類やナルコランの栽培状況や管理方法などを確認しました。



栽培状況を確認する参加者



JA ながの 生産者から説明

厚生連にマスクや 医療用手袋など寄贈

J A全農長野は社会貢献活動の一環として、J A長野厚生連にマスクや医療用手袋などの衛生物品を寄贈しました。長野市のJ A長野県ビルで3月4日(月)に贈呈式を開き、全農長野の高木昭彦副本部長が厚生連の洞和彦理事長に目録を手渡しました。寄贈した衛生物品はマスク9万枚、医療用手袋10万5千枚、防護服1万枚、医療用除菌クロス1万4,400枚。衛生物品の寄贈はコロナ禍の2021年から始めて4年目で、2020年までの11年間は福祉車両を寄贈していました。

高木副本部長は「1月1日の能登半島地震ではDMATを派遣し、先頭に立って命を救う役割を果たされました。コロナの感染が続いている中で地域医療を支えていただいていることに感謝申し上げます。医療スタッフの活動に役立ててください」と述べました。洞理事長は「衛生物品は有事のための備蓄も必要です。J Aグループの仲間からの温かい心遣い、本当にありがとうございます」と感謝しました。

衛生物品は、県内の10の医療機関に届けられます。

【寄贈先】

佐久総合病院、浅間南麓こもろ医療センター、北アルプス医療センターあづみ病院、長野松代総合病院、北信総合病院、鹿教湯三才山リハビリテーションセンター、南長野医療センター篠ノ井総合病院、南長野医療センター新町病院、富士見高原医療福祉センター富士見高原病院、下伊那厚生病院



洞理事長に目録を手渡す高木副本部長(右)

生活課

JAタウン「全農長野 僕らはおいしい応援団」
出店者会議を開催

JA全農長野生活課は3月7日(木)、JA全農の通販サイト「JAタウン」の長野県シヨップ「全農長野 僕らはおいしい応援団」の出店者会議を開き、令和5年度の販売実績や消費者動向、令和6年度の活動方針などを説明しました。新型コロナウイルス禍で参集型会議は中止していましたが4年ぶりに開き、出店者27名が出席しました。

JAタウンには、全国から約120シヨップが出店しており、「全農長野 僕らはおいしい応援団」シヨップの店舗数は73店舗(令和6年1月末時点)。令和5年4月から令和6年1月の取扱金額は2億3,708万円(全国シェア8.2%)、販売数は4万4,414個(全国シェア5.7%)。7月から10月の取扱金額は全国1位、11月と12月は全国2位でした。例年人気があるシナノスイート、サンふじ、アズノ、シャインマスカット、モモ、スイカ、市田柿のほか、新聞へ露出があった南水

の販売が好調でした。また、JAタウン全体で行われた10月から11月注文分が対象の「国産国消(お客様の送料負担なし) キャンペーン」が後押しとなり、12月発送の予約商品も好調でした。

JA全農フードマーケット事業部の担当者は「JAタウンは競合他社と比較するとスマートフォンよりパソコンからの受注比率が約40%と高い。これは商品画像、コメントをじっくり吟味してから購入される傾向が強いからではないか」との見解でした。また、「購入商品の50%を果物が占め、上位等級・サイズ、希少価値のある品から売れていく傾向・特徴がある」と話しました。全農長野生活課の担当者は「購入者のレビュー(口コミ)が多く投稿され、高評価となった商品が売れる傾向にある。新規出品時は、特に品質に配慮することがその後の売れ行きにつながる」と説明しました。

JAタウン「全農長野 僕らはおいしい応援団」は、これまで生産販売部が所管していましたが、令和5年度から生活課の所管になりました。生活課は令和3年度からインターネット通販「らくJAんお届け便」を運営しており、全農長野のeコマース事業を生活課に集め、組合員・利用者目線での商品展開による支持の拡大、業務の効率化、相乗効果を期しています。

生活課は、今年度は部署移管後の安定稼働を目標として運営してきましたが、6年度は出店者・生産者への出品促進・推進対応を強化すべく、営業体制を見直し、さらなる事業拡大を図ります。

松本山雅FCに
ミニゴールを贈呈

JA全農長野は、松本山雅FCに練習用ミニゴール10台を贈呈しました。(表紙右下)

3月20日(水・祝)の試合で贈呈式が行われ、全農長野の名前が入ったミニゴールを前に、長谷川本部長付と松本山雅FCの神田文之社長が固く握手しました。

ミニゴールの贈呈は昨年に続き2回目。過去は練習用ボール、ベンチコートなどを贈呈しています。

ミニゴールは、クラブの練習場所である松本市かりがねサッカー場などで活用されます。



1-0で勝利し、安藤選手にMVP賞を贈る長谷川本部長付(左)

総務広報課

J Aビル食堂で地産地消ランチ

J A全農長野生産販売部は、J A長野県ビルの食堂「しなの木」に定期的に青果物を提供し、ランチメニューに活用されています。2月は畜産酪農部が提供した牛肉とともに「地産地消ランチ」が登場しました。

2月21日(水)のメニューは、野菜きのこ課がキャンペーンで提案した「きのこ牛肉の甘辛混ぜご飯」をアレンジした「きのこ牛肉の甘辛丼」。生産販売部からえのきたけ、ぶなしめじ、エリンギ、畜産酪農部から信州アルプス牛を提供しました。定食2種類とカレーや麺類がある中で、この日の利用者のうち60%から「きのこ牛肉の甘辛丼」定食の注文があり、「きのこの歯ごたえがいい」「牛肉が柔らかい」と大変好評でした。また、利用者全員に牛乳をサービスしました。



きのこ牛肉の甘辛丼。味噌汁の大粒なめこも提供

不安定な国際情勢や異常気象などが、私たちの食に大きな不安をもたらしています。安全安心でおいしい農畜産物が安定的に供給され、私たちの食が豊かになっていくために、全農長野は「みんなで食べて応援」するよう、ご家庭での地産地消を呼び掛けて参ります。

長野米消費拡大キャンペーン 「新生活応援 長野米を全国に贈ろうキャンペーン」開催中

長野県A・コープ県内29店舗では、長野米の消費拡大を目的に「新生活応援 長野米を全国に贈ろうキャンペーン」を開催中です。(株)長野県A・コープ、J A全農長野、(株)マイパール長野の共同企画で、秋のキャンペーンに続いて第2弾となります。

このキャンペーンは、「長野県産コシヒカリセレクト」と県オリジナル品種「風さやか」の食べ比べセットをはじめとした長野県のおいしいお米を、県外に暮らす大切な方に贈ることができる企画です。4月1日(月)～5月31日(金)の期間中、A・コープ各店のサービスカウンターで申し込みを受け付けています。

食べ比べセットで様々な長野米のおいしさが味わえます。長野県から心を込めて、県外のご家族、ご親戚、ご友人に長野米を贈り、元氣と笑顔を届けましょう。

長野県A・コープ、JA全農長野、マイパール長野 共同企画

新生活応援！
長野米を全国に贈ろう
キャンペーン

ご注文 令和6年 4月1日(月)～5月31日(金)
※お届け日の指定はできません。

コシヒカリセレクト
水浸熟成でより美味しさを増したお米です。お米の粒がもちもち、炊きあがりもちもち、冷めてもつやが残り、美味しくいただけます。

風さやか
ほのかな香りとさらさらとした炊感。コシヒカリに似たりながらも、冷めてもつやが残り、美味しくいただけます。

商品ラインナップ 全て送料が含まれたセット商品になります。

① 一番稲花
幻の米 水浸熟成米
5,990円(税込4,699円)

② コシヒカリセレクト & 風さやか
4,990円(税込3,989円)

③ 無洗米
あづみのコシヒカリ & 無洗米 風さやか
5,090円(税込4,979円)

④ 幻の米 水浸熟成米 & コシヒカリセレクト & 風さやか
3,690円(税込3,585円)

⑤ 風さやかパックごはん
1ケース (10kg×10袋)
3,690円(税込3,585円)

お申込みは、長野県A・コープ各店サービスカウンターまで

令和6年度 機構・分掌・要員について

I. 基本的な考え方

1. 今次中期3か年計画に基づき、J.A・県域および子会社の機能を最大限発揮し、各部門の事業競争力強化を更にするとともに、J.A営農経済事業の収支改善および農業所得の増大と地域の活性化に取り組む。

2. 特に中期3か年計画の最終年度にあたり、部門間連携による営農生産業務の機能発揮とDX（デジタルトランスフォーメーション）展開による効率的な推進体制を深化させ、次期中期3か年計画の礎とする。

3. 生産事業においては農業基盤維持拡大のため、マーケットニーズに応じた生産促進をはじめ気象災害に対する営農技術等の提案による安定生産をはかるとともに、信州産農畜産物の販売力強化と高騰する資材コストの抑制をすすめる。生活事業においては、事業分野の選択と集中による生活支援強化をはかり、ライフラインの充実に取り組む。

4. 県本部総合経営管理の堅持ならびにコンプライアンス態勢の推進により、J.Aグループ全体の経営基盤確立をすすめる、県域結集の拡大と成果を得る県本部の運営を行なう。

II. 機構・分掌の主な変更内容

1. 今次中期3か年計画の最終年度であり、計画必達を最優先し機構変更は実施しない。
ただし、次期中期3か年計画策定の年度でもあるため、J.A営農経済事業の発展に資する体制の協議検討を重ね、会員J.A・組合員の負担に応える次期機構を構築する。

人事異動

全農長野県本部 令和6年3月8日付

《副本部長》

▽長野県本部長付

▽副本部長（営農・販売事業部門担当）（長谷川 孝治）
▽副本部長（企画・管理・畜酪・生活）
▽副本部長（管理・購買事業部門担当）（高木 昭彦）
▽副本部長（営農・生産販売・生産購買）
（生産振興部長兼担い手推進センター長 根津 彰寛）

《部長級》

▽業務点検・コンプライアンス部

▽総合企画部長
（畜産酪農部付）西澤 孝典
▽管理部長
（総合企画部副部長兼改革推進・企画課長 小池 経夫）
▽生産振興部長兼担い手推進センター長 安武 裕高

▽生産販売部長
（東京販売事務所所長 小原 和博）
▽東信事業所所長
（大阪販売事務所所長 手島 英雄）
▽東信事業所所長
（東信事業所所長 由井 正明）
▽北信事業所所長
（北信事業所所長 王生 親）
▽法務・リスク管理統括部グループ 監査役室
（北信事業所所長 小林 正明）
▽総合企画部付
（生産販売部長 竜野 竜）
▽畜産酪農部付
（総合企画部長 青木 澄人）
▽生活部付
（管理部長 依田 稔）

《副本部長級》

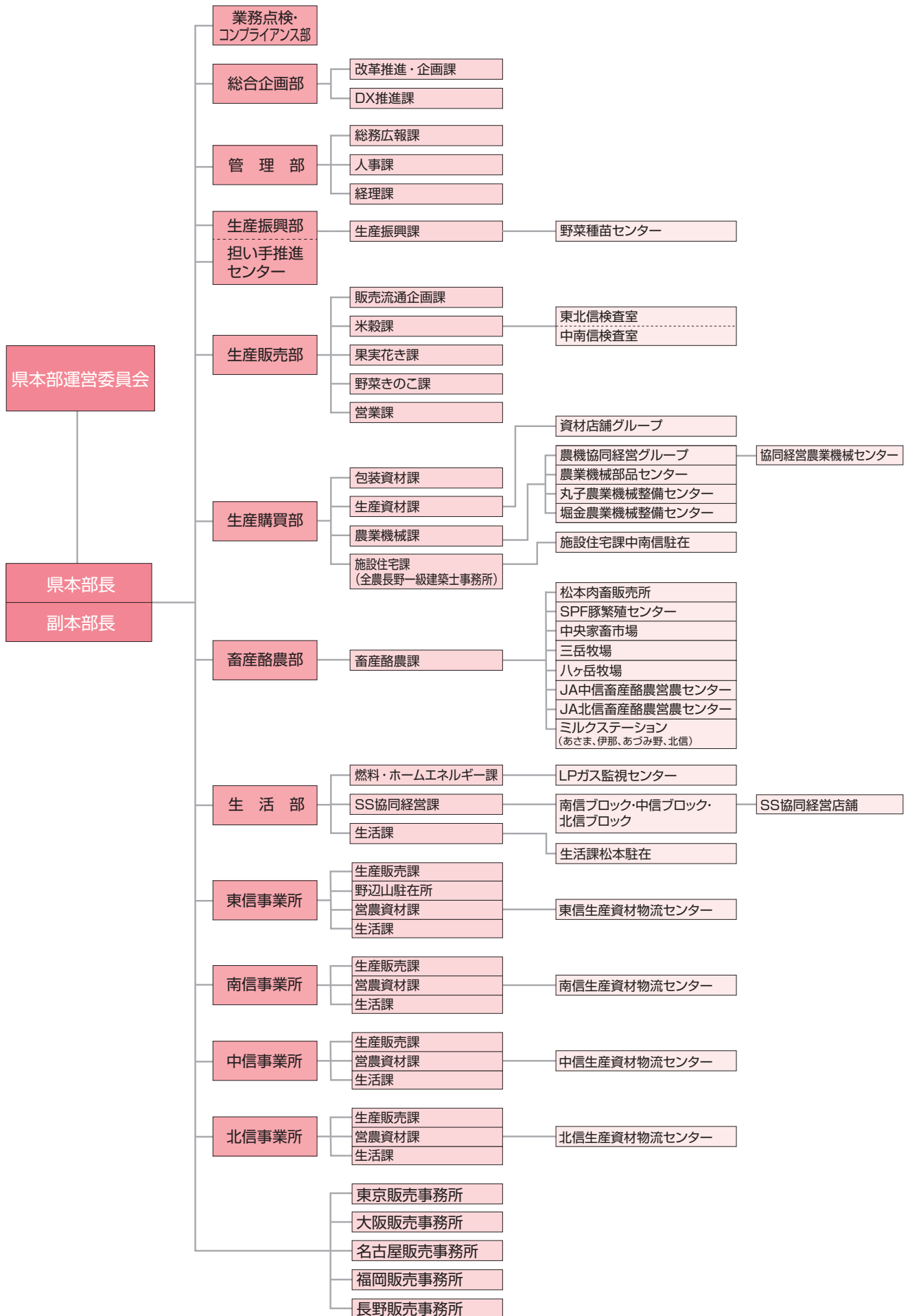
▽総合企画部副部長兼改革推進・企画課長
（生活部燃料・ホームエネルギー課長 川手 秀樹）
▽管理部副部長兼人事課長
（管理部副部長兼経理課長 山田 茂）
▽生産販売部副部長兼果実花き課長
（生産販売部果実花き課長 小林 強）

▽生産販売部副部長兼営業課長
（名古屋販売事務所次長 池田 吉隆）
▽生産購買部副部長兼生産資材課長
（生産購買部生産資材課長 青木 哲也）
▽畜産酪農部副部長兼畜産酪農課長
（畜産酪農部畜産酪農課長 小林 智一郎）
▽生活部副部長兼燃料・ホームエネルギー課長
（管理部副部長兼人事課長 小池 英樹）
▽生活部副部長兼SS協同経営課長
（生活部SS協同経営課長 黒澤 雅俊）
▽南信事業所次長兼生活課長
（南信事業所生活課長 鷹野 毅）
▽中信事業所次長兼生産販売課長
（東信事業所次長兼営農資材課長 三澤 謙一）
▽北信事業所次長兼生活課長
（中信事業所次長兼生活課長 平澤 英人）
▽東京販売事務所所長
（生産販売部野菜きのこ課長 古越 悟）
▽大阪販売事務所所長
（東信事業所野辺山駐在所長 上市 康宏）
▽生産販売部野菜きのこ課長
（生産販売部野菜きのこ課長代理 土屋 雄一）
▽畜産酪農部畜産酪農課松本肉畜販売所所長
（畜産酪農部畜産酪農課三岳牧場場長 川合 明彦）
▽東信事業所野辺山駐在所長
（生産販売部果実花き課長代理 北村 真一）
▽東信事業所営農資材課長
（生産購買部生産資材課資材店舗グループ長 小林 目明）
▽東信事業所生活課長
（管理部経理課長代理 町井 文枝）
▽南信事業所生産販売課長
（中信事業所生産販売課長代理 梅澤 理恵）
▽中信事業所生活課長
（北信事業所生活課長 野澤 剛士）
▽北信事業所生産販売課長
（中信事業所生産販売課長 岡村 隼人）
▽長野販売事務所所長
（生産振興部生産振興課野菜種苗センター長 小口 敏樹）

《課長級》

▽管理部長経理課長
（東信事業所生活課長 藤澤 孝彦）
▽生産振興部生産振興課野菜種苗センター長
（長野販売事務所所長 北原 秀樹）
▽生産販売部野菜きのこ課長
（生産販売部野菜きのこ課長代理 土屋 雄一）
▽畜産酪農部畜産酪農課松本肉畜販売所所長
（畜産酪農部畜産酪農課三岳牧場場長 川合 明彦）
▽東信事業所野辺山駐在所長
（生産販売部果実花き課長代理 北村 真一）
▽東信事業所営農資材課長
（生産購買部生産資材課資材店舗グループ長 小林 目明）
▽東信事業所生活課長
（管理部経理課長代理 町井 文枝）
▽南信事業所生産販売課長
（中信事業所生産販売課長代理 梅澤 理恵）
▽中信事業所生活課長
（北信事業所生活課長 野澤 剛士）
▽北信事業所生産販売課長
（中信事業所生産販売課長 岡村 隼人）
▽長野販売事務所所長
（生産振興部生産振興課野菜種苗センター長 小口 敏樹）

令和6年度 全農長野県本部機構図



JA全農長野の事業現況▶

令和5年度2月末部門別実績表

(単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		0	0	0
野菜種苗センター		153	92	99
生産振興部計		153	92	89
米	穀	15,786	97	106
果実花き		48,348	106	104
野菜きのこ		69,955	93	107
営業		13,862	90	105
生産販売部計		147,951	97	105
包装資材		8,227	99	105
生産資材		9,432	100	84
農業機械		4,988	92	98
施設住宅		6,916	129	112
生産購買部計		29,563	104	98
畜産酪農		29,452	102	104
三岳牧場		260	103	114
SPF繁殖センター		260	92	99
ハケ岳牧場		250	109	133
畜産酪農部計		30,221	102	104
燃料・ホームエネルギー		24,900	98	97
S S 協同経営		7,122	110	102
生活		8,316	105	100
生活部計		40,339	101	99
長野県本部計		248,100	99	103

(内部販売高含む)

4月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
4/24(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶりでい内 「暮らしの応援団」	農業機械課

グリーンレーダー
X(旧ツイッター)はこちら▶



今月のおすすめレシピ

がっつり美味しい!
アスパラたっぷり豚丼



■材料(2人分)

- ・アスパラガス.....6本
 - ・豚ロース肉.....200g
 - ・玉ねぎ.....1/2個
 - ・片栗粉.....大さじ1
 - ・サラダ油.....大さじ2
 - ・ご飯.....2膳分
 - ・塩.....少々
 - ・山椒.....適宜
 - ・紅生姜.....お好みで
- 【A】
- ・しょうゆ.....大さじ2
 - ・酒.....大さじ2
 - ・みりん.....大さじ2
 - ・砂糖.....大さじ1
 - ・黒酢または酢.....小さじ2

- ①アスパラガスは根元を2cm程切り、斜め切りにする。玉ねぎは5mm程の厚さに切り、耐熱容器に入れてラップをし、レンジに2分(600W)かける。豚ロース肉は食べやすい大きさに切り、片栗粉をまぶす。
- ②フライパンにサラダ油大さじ1を入れてアスパラガスを炒め、塩をふってお皿に取り出しておく。
- ③フライパンにサラダ油大さじ1を足して豚肉を炒め、色が変わったら玉ねぎを加え炒め合わせ、合わせておいた【A】を加えてとろみがつくまで炒める。
- ④どんぶりにご飯をよそい③を盛って山椒を振りかけ、②のアスパラガスを盛り付ける。お好みで紅生姜を添える。

グリーンレーダー
WEB版はこちら▶



編集後記

信州の春は雪割福寿草に始まり、あ
んず桜、花桃や菜の花など、彩鮮や
かです。そんな季節の中、新年度が始
まります。長野県本部は長谷川新本
部長のもと、令和6年度事業計画供
給販売高を2,706億円とし、県域
結集の拡大と結集成果のJA組合員
への還元をすすめて参ります。

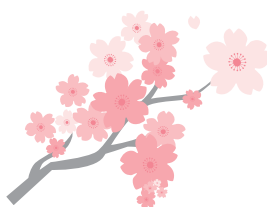
地政学的リスクの高まりや自然災
害の頻発・激甚化など依然として厳し
い環境にありますが、一方で日経平均
株価は2月25日にバブルの絶頂期に
つけた史上最高値を更新し、3月4
日には初の4万円を突破したことで、
経済界では「日本が成長と分配の好
循環に動き出した」と歓迎ムードに
あります。

今後の実体経済の伸長如何による
ところではありますが、バブル以降長
期停滞してきた日本経済にとって明
るいユースとなっています。

こうした時代の潮流に遅れること
なく、新たな高みを目指し、会員JA
の結集のもと、職員一同粘り強く努力
し、大きな成果を生み出すことを確信
しています。

令和6年度、私
たちの可能性は
無限大です。共に
新年度の目標に
向けて歩んで参
りましょう。

(一)



グリーンリーダー4月号（毎月発行） 2024年3月20日発行
 発行／JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 第539号
 発行人／高田武司 印刷／PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3

信州の農畜産物

ごつつあんです



JA全農長野は、長野県の農畜産物を通して御嶽海関を応援しています。



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

